



キッズリフレッシュ21基金の補助金助成にて実施されました。

2017

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会

ふくしまっ子 チャレンジサマースクール 2017 in 石川

報告書

平成29年 8月9日(水)~14日(月) 5泊6日



主 催 ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
協 力 特定非営利活動法人 poco連人(福島県)
宿泊場所 石川県立能登少年自然の家



『ふくしまっ子チャレンジサマースクール 2017 in 石川』を終えて

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
代表 岩井繁樹

2012年の夏に第1回を開催して以来、6回目となる『ふくしまっ子チャレンジサマースクール』を無事終了できたことに、限りない喜びと感謝を感じています。ご支援ご協力いただいた皆様、ほんとうにありがとうございました。

大きな喜び

継続は力なりと言いますが、6回継続したからこそ実現した大きな喜びがいくつありました。

そのひとつは1回目に参加した福島のI君が高校生(高専生)になってヤングリーダーとして参加してくれたことです。この流れ(参加した子どもがリーダーになってくれる)は1回目から関わってきた大人スタッフ全員が一番望んでいたことでした。

さらに今年は、ヤングリーダー(学生・社会人)が26名(初参加は10名)も集まってくれました。そしてプログラムのほとんどをヤングリーダーが主導してくれました。子ども達の指導はヤングリーダーが、そのサポートと運営全般の下支えを大人スタッフが担う絶妙の体制がようやく整いました。

参加者の募集に関しては30名の定員が募集初日に埋まってしまいました。1回目の募集の苦労が嘘のようです。

また、今年初めてTVの特集ニュースで取り上げていただきました。そして、地方紙ではありますが北陸中日新聞1面のトップ記事として掲載されました。特にテレビ金沢さんの番組は取材に時間と労力をかけていただきクウォリティが高いと評判でした。

保護者のみなさまとこころの交流が出来るようになったこと、繰越活動資金が年々増えていることも大きな喜びであり、この上もなくありがたいことです。

無理せず楽しく進化

わがふくしまっ子チャレンジスクールは年々スタッフが増え、活動資金も集まり、プログラム内容も充実し、参加の子供たちの人気も高く、何の問題もないように外からは見えるかもしれません、毎年ハラハラドキドキしながらキャンプを迎えてます。

今年は支援金が集まるかな?ヤングリーダーは来てくれるかな?子ども達は集まってくれるかな?宿泊施設の予約は大丈夫かな?準備品は万全かな?実施直前まで心配の種は尽きません。これはほんとうです。

その心配を払拭するため年間を通して数多くのミーティングや準備作業、放射能に関する勉強会、受入全国協議会主催の研修会参加などを行なってきました。これはことばを変えるとスタッフのモチベーションを如何に維持するかの地道な作業とも言えるかもしれません。それだけ福島原発事故の風化はすさまじいのです。そして保養キャンプの必要性を叫ぶ声はだんだん届かなくなってきた現状があります。保養キャンプ不用論さえ地元では流布する方がいると聞きます。

それでも、私達は福島で暮らしておられるお母さん方が、我が子が安全で健康に成長できるのだろうかという不安と鬱々していることを知っています。その方達のためにも、私達は歯を食いしばってでもこの事業を続けなければならないと思っています。

ふくしまっ子チャレンジスクールのモットーは『無理せず楽しく』です。10年20年とこの保養活動は続きます。重い課題を1人だけで背負わず仲間と共にしながら笑顔で軽やかに行動する。クール(かっこいい)ですよ。

来年もふくしまっ子の「ただいま~!!」の声を石川で聞くためにチャレンジスクールはますます進化していくことを誓います。ダンスと英語も進化させねば(笑)

保養キャンプとは

原発事故により放射能の影響と不安がある地域に暮らす人々が(特に放射能の影響を受けやすい子ども達)が休日などをを利用して、他地域に滞在することで放射能の影響や不安から一時的に離れることで、体調を整え、心身の疲れを癒すことを目的として企画運営されるものです。

テエルノブイリ原発後ウクライナやベラルーシなどでは国家が主導して、学校の授業の一環として保養キャンプが実施され、期間は1か月を越えるのが普通です。30年経った現在も実施されその効果も実証されています。

わが国では現在でも全国で200以上の団体が毎年夏・冬・春休みなどをを利用して保養キャンプを実施しています。運営はボランティアが主で、資金面は寄付金・補助金で成り立っているのが現状です。

ご支援 お願いします。

■ゆうちょ銀行よりお振込いただく場合

振込口座 ゆうちょ銀行

【記号】13100

【番号】2147251

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
(フクシマッコチャレンジスクールジッコウイインカイ)

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会では保養事業が長期に渡る継続事業であることから、隨時活動資金のご寄附をお願いしております。みなさま方のあたたかいご理解ご支援を心よりお願い申し上げます。

■他金融機関よりお振込いただく場合

振込口座 ゆうちょ銀行

【支店名】318 (サンイチハチとお書き下さい)

普通貯金 【口座番号】0214725

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
(フクシマッコチャレンジスクールジッコウイインカイ)

編 集 後 記

毎年毎年こうして報告書を作成しながら振り返りますが、1度も同じ気持ちだったことはありません。とにかく開催を!と手探りだったころから、たくさんの方々にそれぞれの立ち位置から関わっていただきました。この6年の間で深まったり、離れたり、離れたからこそ新しい再発見をしたり、少しづつの変化が大きな化学反応を起こして、これまでのどの報告書を見て振り返っても皆様のその時その時の精一杯がキラキラしています。

毎年、ヤングリーダーの成長がクローズアップされたり、子ども達の成長がまぶしかったり、大人スタッフとの深いかかわりなど、その年ごとに嬉しかった大きな変化が頭の中に浮かんでくるのですが、今年一番に浮かんでくるのは福島の方々との関係でしょうか。

ご参加いただいた保護者様からいただいたアンケートで「もっとふくしまっ子のためにできる事はないかと考えさせられました」の記述に胸があつくなりました。福島県いわき市で十輝コンサートを主催した保護者様が『福島県の方々にふくしまっ子の活動を知って欲しいから!』との呼びかけがあり、売り上げの一部をご寄附いただきました。福島スタッフの中には、参加スタッフの送迎だけの為に期間中、福島～石川間を2往復していただいたり(初心者マークと高齢者マークを並んでつけて!)、帰りの添乗だけの為にわざわざお盆休みを返上して足を運んでいただき頭が下がりました。ちょっとした会話の端々や記述や行動の中に福島の方々からの「何かできないか?」があふれて伝わってきた年でした。

1回目から参加している子どもが今回からリーダーとして参加している姿を見て、中学生たちが「ヤングリーダーとして戻ってくる!」とお別れの日の涙の表明や、アンケートに書かれたたくさんのメッセージは宝物です。

そんなあたたかな気持ちとは裏腹に、この夏に高校生になったお子様の夏休みの宿題として家の周囲の線量を毎日測定するものがあり、学校から持ち帰った線量計で家の周囲を計った際、裏山竹林からの風向き次第で家の前の道路の線量が2～3倍の数値になる事、家族がくつろぐウッドデッキの線量の高さに絶句した事、裏山竹林の線量の高さが怖くて計りに行けなかった事を淡々とお話ししていただく姿に触れました。開催期間中テレビ金沢の取材が入り、8/21(月)に報道特集として10分間放映があり、取材に応じた保護者の方々それぞれの胸にあるものを改めて知る機会となりました。

皆様の気持ちが集まった報告書を手にとっていただき、ふくしまっ子達を取り巻く環境は原発42基を保有(世界第3位)する日本全体の問題として語り合うきっかけになれば幸いです。

放射能の影響は決して目に見えませんが、だからこそ「何かできないか?」が集まる事で大きな化学反応が起こり次世代を共に担う力になることを願ってやみません。

今年も多くの方々のご協力・ご支援・応援、本当にありがとうございました。深く深く感謝申し上げます。また、来年もお会いできることを楽しみにしています。

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会 事務局 澤本 多日子

【ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会】自平成29年4月1日 至平成29年9月30日
収支決算報告書

(収入)

(単位:円)

(単位:円)

| | 金額 | 内訳 |
|--------|-----------|---|
| 参加者会費 | 480,000 | 15,000円×30名(子ども32名)=450,000 7,500×4名(保護者4名)=30,000 |
| 募金 | 14,322 | 街頭募金 |
| 補助金 | 300,000 | キッズリフレッシュ21 |
| 協賛金 | 2,090,188 | 企業・団体 33件・個人様 85件(¥1,662,600) 募金箱協力3件(¥127,088) チャリティコンサート收入(石川常識寺)(¥300,500) |
| 研修会費 | 42,000 | GW研修会大人参加費 4月BBQ交流会参加費 |
| 雑収入 | 9 | 受取利子 |
| 前年度繰越金 | 3,558,951 | |
| 合計 | 6,485,470 | |

(支出)

| | 金額 | 内訳 |
|---------|-----------|---|
| 人件費 | 38,000 | 力士一指導料4,000円×2名 看護師30,000円 |
| 会議費 | 101,538 | 講師御礼、夏スタッフ慰労会8/14分(38名分)¥45,287 |
| 備品費 | 9,490 | |
| 活動費 | 56,425 | 6/27白山少年自然の家ボランティア養成講座参加費5名 7,500円 BBQ炭・活動材料費・生活用品費(洗剤・シャンプー)等 |
| 施設借り上げ料 | 402,580 | 能登町(能登少年自然の家) GW研修(ワンヌスクール) |
| バス委託料 | 761,180 | 郡山～能登少年自然の家 能登少年自然の家～郡山 |
| 食料費 | 235,529 | GW合宿研修自炊食材費 46,363円 能登自炊食材・飲料費 189,166円 |
| 旅費・交通費 | 131,432 | 5月GWスタッフ研修会旅費補助分 福島はよーん説明会・事前説明会 高速料・ガソリン料 |
| 通信費 | 29,141 | チラシ郵送費・申込書・報告書郵送費 |
| 広告宣伝費 | 270,880 | デザイン費(チャリティコンサート・募集チラシ作成費等) 報告書作成費200,000円(予定計上)昨年度600部18万実績より |
| 印刷消耗品費 | 28,160 | コピーディスプレイ、消耗品費 |
| 保険料 | 50,726 | 参加者 国内旅行傷害保険 スタッフボランティア保険 |
| 雑費 | 8,600 | 振込手数料 |
| 今年度繰越金 | 4,361,789 | |
| 合計 | 6,485,470 | |

北陸中日新聞 8/12掲載



福島っ子能登の夏満喫

有志ら今年も招待
「放射線の不安忘れて」

海水浴場ではしゃぐ福島の子どもたち=能登町の五色ヶ浜

東日本大震災や東京電力福島第一原発事故による放射線の影響を心配する子どもたちが、福島の海水浴場で能登半島の夏を満喫している。

石川県に避難した被災者が故郷の夏を満喫するところを見た。

海水浴場で能登半島の夏を満喫する子どもたち=能登町の五色ヶ浜

海水浴場ではしゃぐ福島の子どもたち=能登町の五色ヶ浜

『保養への思い』

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
代表幹事 澤本悟博

6年間続けていますが、子ども達の成長が楽しみになり、今年はふくしまっ子がリーダーになって帰ってきました。スタッフみんなが強く望んでいたことが一つ実現しました。また中学2年生のふくしまっ子は友達同士で「リーダーになって帰ってこよう!!」と熱い約束を交わしていました。彼らの約束のポーズの写真を撮りながら、熱いものがこみ上げてきました。

ヤングリーダーたちも年々逞しく、企画から、行事運営を行い良い社会経験が出来ているなあと嬉しくなっています。また社会人になってもヤングリーダーとして参加してくれるOB、OGの皆さんにも感動です!!

高校、大学時代には林間学校で同じ体験をしました。その仲間とは現在も深いつながりを持つことが出来ています。そのベースがふくしまっ子に繋がっていることは間違ひありません。ヤングリーダーのみんなも学校やサークル以外で深いつながりを持てる場が「ふくしまっ子」であればと期待しています。

子ども達たちの笑顔をみると放射線なんてどこにあるんだろう?と思えてきます。しかし子ども達、保護者の方達の奥深くに潜んでいる不安はこれからも続くものだと考えると、少しでも保養事業を開催し、からだいや 體の癒しと、心の交流が出来ればと年々思いは強くなっています。

保養事業を通して福島の方々、全国の方々と交流が出来、深い絆が広まっていることに感謝しています。皆さんのが健康で、楽しい保養事業が開催でき、大きな輪が拡がっていくことを願っています。

『二つの夢が叶った今年』

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
幹事 下村英司

本年も2017年ふくしまっ子チャレンジサマースクールを無事に終えることが出来ました。ご支援ご協力頂きました大勢の皆様に感謝致します。

今年もたくさんの楽しい事、嬉しい事があり充実した日々を過ごせました。

毎年のように、子ども達の笑顔を見ているだけで周りのスタッフも自然と笑顔になりました。

ふくしまっ子の保養事業を続けていく中、二つの夢が有りました。それは、福島の大学生がヤングリーダーとしてチャレンジサマースクールに参加してくれる事、ふくしまっ子の子ども達がヤングリーダーとして帰っててくれる事です。

一つめの、福島の大学生がヤングリーダーとしての参加は4年前に叶い、社会人となつても参加してくれています。

そして今年は二つめの夢が叶い、ふくしまっ子がヤングリーダーとして帰って来てくれました。しかも2名が参加してくれました。

昨年までは、ふくしまっ子としてチャレンジスクールに参加していた子ども達が、5月の連休の合宿から参加して、イベントの企画・提案を他のヤングリーダー達と協力してイベントを実施しました。

また、ヤングリーダー達の姿を見て、近い将来、自分もヤングリーダーになると言ってくれる子ども達がいます。実に頼もしく、嬉しい限りです。

この様に子ども達、ヤングリーダー達の成長を感じ取れる喜びも実感した年でした。

ふくしまっ子の保養事業は、毎年広島から来てコンサートを開催してくれる方、大阪から写真撮影をしてくれる方、福島からイベントを手伝ってくれる方々、ヤングリーダー・アダルトスタッフ、そしてご寄附、食材の提供など大勢の方々から多大な尽力をいただいております。その大勢の方々のお心が、子ども達を明るい笑顔に輝かせたものと思います。

この事業が立ち消えことなく継続するのには皆様のご支援ご協力が不可欠です。どうぞ引き続きご支援ご配慮賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

事業報告

1. 事業名 ふくしまっ子チャレンジサマースクール 2017 in 石川
2. 実施主体 ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
3. 実施期間 平成29年8月9日(水)～平成29年8月14日(月) 5泊6日
4. 宿泊場所 石川県立能登少年自然の家 石川県鳳珠郡能登町字九里川尻16字20番地
5. 実施場所 石川県立能登少年自然の家
五色ヶ浜海水浴場(海水浴・地引網)
6. 参加者 福島県+栃木県の小学1年生～中学2年生／30名
石川県の小学生1名・中学生1名
7. 事業内容



《主なスケジュール》

| | 6時 | 7時 | 8時 | 9時 | 10時 | 11時 | 12時 | 13時 | 14時 | 15時 | 16時 | 17時 | 18時 | 19時 | 20時 | 21時 | 22時 |
|----------|----|-------------|-----|--|---|----------------------------|-----|------------------|---------|----------------------------|-----|------------|-------|-----|-------|-----|-----|
| 8/ 9 (水) | | | | | 郡山市9:00出発 → 昼食(新潟のSAで) → 隨時休憩 → 能登到着18:00 | | | | ウェルカム夕食 | 開校式オリエンテーション班活動 | 入浴 | | | | | | |
| 8/10 (木) | 起床 | ラジオ体操・朝のつどい | 掃除 | フリータイム | 朝食 | スポーツフェスミニ運動会 | 昼食 | お昼寝タイム | フリータイム | 野外炊飯準備 | 入浴 | 野外炊飯料理大会 | 英会話教室 | 班活動 | 就寝 | 就寝 | |
| 8/11 (金) | | | | | | 海水浴 能登の海を満喫 五色ヶ浜海水浴場 | | 海水浴&地引網 | スイカ割り | | 夕食 | フリータイム | | | 夜のつどい | 準備 | 寝 |
| 8/12 (土) | 洗面 | | | | | カヌー体験 | | お昼寝タイム | フリータイム | キャンプinキャンプ (テント張り・野外炊飯) | | | | | | | |
| 8/13 (日) | | | | | | キャンプinキャンプ (テント張り&野外炊飯) | | 夏祭り 水鉄砲&シャボン玉 | | 入浴 | 夕食 | ファイナルコンサート | | | | | |
| 8/14 (月) | 掃除 | 朝食 | 閉校式 | 能登9:00出発 → 昼食(新潟のSAで) → 隨時休憩 → 郡山到着18:00 | | | | | | | | | | | | | |

1年間の活動・準備のふりかえり

(2016.8.20~2017.8.8)

平成28年（2016年）

| | | |
|-----------|---|---------|
| 8月20日(土) | 反省会と今後の活動打合せ | 【5名参加】 |
| 31日(土) | 反省会 | 【8名参加】 |
| 9月 9日(金) | 報告書編集会議 | 【4名参加】 |
| 18日(水) | 報告書編集会議&反省会&打ち上げ会 | 【22名参加】 |
| 25日(日) | 広島スタッフと反省会 | 【8名参加】 |
| 10月 2日(日) | 報告書編集会議 | 【6名参加】 |
| 10日(月) | 報告書編集会議 | 【3名参加】 |
| 14日(金) | 報告書編集会議 | 【5名参加】 |
| 21日(金) | 報告書編集会議 | 【4名参加】 |
| 11月 5日(土) | 郡山報告会 お泊り会 猪苗代ぼかぼかハウス | |
| 6日(日) | 福島県から (poco連人さん2名) 石川県から (大人スタッフ5名ヤングリーダー10名子ども2名) 8家族 (子供18名保護者8名) | 【45名参加】 |
| 12日(日) | 報告書・報告会打上会 | 【5名参加】 |
| 17日(木) | 白山石川ロータリークラブにて岩井講演 松任グランドホテル | 【30名参加】 |
| 26日(土) | 金澤町屋報告会 金沢市東山『カフェ椋』 | 【27名参加】 |
| 12月12日(土) | ハートフルクリスマスパーティー | 【37名参加】 |



郡山報告会



金澤町屋報告会



合宿研修



十輝+鬼太鼓座チャリティーライブ



街頭募金



事前説明会

平成29年（2017年）

| | | |
|----------------|---|---------|
| 1月 18日(水) | スタッフミーティング | 【7名参加】 |
| 28日(土) | スタッフミーティング 今年の活動計画 | 【9名参加】 |
| 2月 4日(土)・5日(日) | うけいれ全国主催『保養のこれからを考える』岩井参加 二本松市 | 【50名参加】 |
| 10日(金) | ヤングリーダーミーティング | 【9名参加】 |
| 3月 4日(土) | 卒業おめでとうパーティー | 【21名参加】 |
| 7日(火) | 臨時ミーティング | 【7名参加】 |
| 25日(土) | スタッフミーティング | 【8名参加】 |
| 4月 1日(土) | ヤングリーダー勧誘交流会 | 【20名参加】 |
| 15日(土) | スタッフミーティング | 【12名参加】 |
| 21日(金) | 28年度実行委員会会計監査 税理士：村上氏 | |
| 30日(日) | 合宿研修準備 布団干し、掃除 | 【12名参加】 |
| 5月 3日(水)～6日(土) | 3泊4日 ワンネススクール鳥越校舎 学生リーダー＆大人スタッフ合宿研修+実行委員会総会+親子保養 講師 よしだ小児科クリニック 吉田 均 院長 日赤救急法指導員 永井敏昌氏 整体師 津田武志氏 (ヤング16名、大人12名、福島親子1家族3名) | |
| | 【31名参加】 | |
| | ゲーム指導講習 今年のプログラム検討会&担当分け B B Q | |
| 21日(土) | 能登少年自然の家・周辺下見・スタッフミーティング | 【18名参加】 |
| 28日(日) | 子ども被災者支援基金主催 コンプライアンス研修会 岩井参加 東京 | 【20名参加】 |
| 6月 2日(金) | ヤングリーダー新人顔合せ | |
| 6日(火) | 申込受付スタート 募集チラシ、寄付依頼文発送 | 【5名参加】 |
| 9日(金) | スタッフミーティング 十輝チャリティーライブ打合せ | 【14名参加】 |
| 10日(土) | 十輝+鬼太鼓座チャリティーライブ 【100名参加】 120枚チケット販売 | |
| 15日(木) | スタッフミーティング 少年自然の家打合せの確認 | 【4名参加】 |
| 17日(土) | 能登少年自然の家事前打合せ ヤングリーダー新人顔見せ | 【2名参加】 |
| 24日(土) | 森のASOBI塾 ヤングリーダー参加 石川県立青年の家 | 【7名参加】 |
| 25日(日) | 街頭募金 14,322円 香林坊大和前 | 【14名参加】 |
| 28日(水) | ヤングリーダー新人顔見せ | |
| 7月 2日(日) | 能登少年自然の家・スポーツフェス会場・海水浴場・地引網下見 | 【16名参加】 |
| 9日(日) | ビースパンク・コードフォー「金沢こまりごと解決」ワークショップ | 【30名参加】 |
| 10日(月) | キッチンスタッフ準備品打合せ | 【4名参加】 |
| 11日(火) | スタッフミーティング 全体スケジュール・安全管理講習 | 【3名参加】 |
| 18日(日) | 安全管理講習会+スタッフ懇親会 講師 早坂信二氏 金沢青少年研修センター 危険予知トレーニング スタッフ参加日程確認 スケジュール確認 | 【30名参加】 |
| 23日(土) | スタッフミーティング 班分け・食事手配・レジュメ確認 | 【6名参加】 |
| 27日(木) | テレビ金沢スタッフと打合せ | 【4名参加】 |
| 29日(土) | 猪苗代 ぼかぼかハウス | |
| 30日(日) | 参加者対象事前説明会 郡山市ニコニコこども館 【9家族20名参加】 【石川より11名参加】 | |
| 31日(月) | 金沢市キゴ山ふれあい研修館予約に真夜中から並ぶ | 【3名参加】 |
| 8月 5日(土) | 準備品チェック テレビ金沢取材 金沢青少年研修センター | 【11名参加】 |
| 8日(火) | スタッフミーティング 部屋割り表・出入り表確認 | 【3名参加】 |

(敬称略)

個人様

- ◎布尾敬子 ◎木山敬介 ◎池田志郎 ◎喜古美千代 ◎帆苅宏典 ◎西尾修一 ◎小花康幸 ◎吉本 哲
◎北野ゆみ子 ◎中川久美子 ◎一丸清美 ◎松下はる枝 ◎中内晃子 ◎今井美智 ◎川上万里子
◎陣内智子 ◎中田他慶子 ◎山本華喜子 ◎西野和也 ◎高田麻里子 ◎八田育子 ◎宮下雅子
◎奈良 勇 ◎釜田典子 ◎鈴木隆之 ◎河岸 博 ◎菱沼曙美 ◎猪飼純市 ◎北 和久 ◎猪狩もとみ
◎大部恵美子 ◎津田省吾 ◎奥村久美子 ◎野間口拓実 ◎黒瀬のり ◎小野薰三 ◎清水十輝
◎富田敦子 ◎本 敏子 ◎上村好子 ◎永井敏昌 ◎村井陽子 ◎細川信喜 ◎石黒由加里 ◎今村 龍
◎山田憲昭 ◎高森玲子 ◎横越和子 ◎西村知栄 ◎道念邦子 ◎遠藤洋子 ◎松岡美紀 ◎山本 悟
◎本城弘幸 ◎松林賢司 ◎黒川真理子 ◎本橋誠一 ◎小浦むつみ ◎田村奈美 ◎杉田信代
◎飯島泰輔・裕花 ◎金田まり江 ◎岩井繁樹 ◎中川和宏・りつ子 ◎堂森郁子 ◎下村英司
◎山上智子 ◎島野健太郎 ◎尾柄由利江 ◎野中将義 ◎田村幸子 ◎吉谷道江 ◎棚田啓子
◎澤本三十四 ◎梅澤きよ ◎中村ちか ◎高木誠一 ◎赤井朱美 ◎桑村佐知子 ◎澤本悟博
◎長沢紀久子
◎十輝チャリティーコンサート
◎鈴木真由美「ヒロシマから未来へ 十輝ミニライブ参加の福島県のみなさん」

食材提供・現物ご寄附様

- ◎エコファーム奥野 ◎あさひ屋ベーカリー ◎トモファームあゆみ野菜 ◎田谷武博 ◎室井幹子
◎尾嶋真理子 ◎濱頭正吉 ◎小金森輝久 ◎土倉若菜 ◎いのちをつなぐ会 ◎ブルーモーメント
◎奥能登みっちーファーム ◎平野敏子 ◎岩本桐工芸 ◎あうん堂 ◎RICE HAIR DESIGN
◎小山 健 ◎(有)アラガキ不動産 ◎関 敦子 ◎高木粧商店
◎奥村弘一・久子・久美子 ◎奥村設計室
◎三田恵理 ◎赤井由美子 ◎鍋谷木材

協賛金・食材提供して頂きカウントダウンボードに協力頂いた企業様



ブルーモーメント



「ヒロシマから未来へ 十輝ミニライブ参加の福島県のみなさん」

8/9 水
1日目



1日目、スタッフは子ども達が能登に着く前に早めに集合し、最終確認を行いました。夕方の17時頃にふくしまっ子を乗せたバスが能登に到着。スタッフの「おかえり」という声でお出迎え。子ども達は一年越しのリーダーやスタッフにハイタッチやハグをかわし喜びを爆発させていました。班ごとにわかれ、みんなでウェルカム夕食。子ども達はバスの長旅で少しお疲れの様子。夕食が終わると開校式を行い、そのあとは、ワサビとトミーによるアイスブレイクを行いました。進化ジャンケンや後出しジャンケンなどを行い子ども達もすごく楽しんでいました。ゲームとゲームの間のトミーとワサビのギャグには子どもや大人もみんな大笑いでした。アイスブレイクが終わった頃には子ども達の緊張がほぐれとてもいい表情をしていました。バスの移動の疲れもあり、明日に備え早めに「おやすみ！」。

たかひろ



8/10
木
2日目



2日目の最初の行事は、スポーツフェスでした。天気は良好で、むしろ暑すぎるので予定していたよりも多めに休憩をとりつつ競技を進めていきました。色々競技をしましたが、やはりリレーになると参加者の声援などが多くなり、白熱しました。目的としては、最初の行事なので盛り上げることや、班ごとに一致団結して競技に取り組んでもらうことでした。自分が思っていたよりも盛り上がり、班内にとどまらず、スタッフと参加者の距離が縮まった行事になったと思いました。時間の関係なども考えてもう少しいろんな競技ができれば良かったなと思いました。

トニー



協賛金・食材現物提供ご協力者

(敬称略)

企業・団体様

- ◎西日本旅客鉄道労働組合西日本JRバス地方本部 ◎(株)ユティック ◎(株)サナ ◎(株)桶村設計
- ◎西日本旅客鉄道労働組合JR西労組西バス地本金沢支部 ◎昭栄産業(株) ◎(有)相馬商会
- ◎寿し寅 ◎(株)ナカムラ企画 ◎むとう小児科医院 ◎(株)大門システムズ ◎入山会計事務所
- ◎奥能登みっちーファーム ◎(株)マツバラ ◎豊国石油(株) ◎楽農心友会 ◎名東化工機(株)
- ◎カオル正體 ◎瀬戸機工サービス ◎(有)オーエムサービス ◎よしだ小児科クリニック
- ◎(株)ヘリオス ◎けんろく保険サービス(株) ◎SAWA会 ◎(株)酒井塗装店 ◎(株)絹川商事
- ◎村田屋旅館 ◎(株)ケイアイデザイン ◎あうん堂 ◎ワイズ美容院 ◎テレビ金沢有志様
- ◎NPO法人市民環境プロジェクト ◎ひがしやま ちょう吉 ◎山下接骨院 ◎(株)澤本商事
- ◎(株)ヤマモト工務店 ◎学校法人金沢科学技術専門学校 ◎MS&ADIのにおんスマイルクラブ
- ◎募金箱 (株)中田エンジン (下村担当) ◎募金箱 (株)澤本商事

募金箱・その他 カウントダウンボードに協力頂いた企業様



(株)絹川商事



(株)ケイアイデザイン



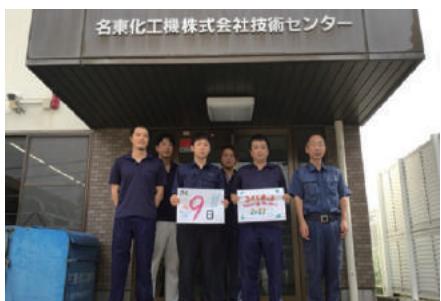
株桶村設計



むとう小児科医院



フェアトレード&オーガニック「アル」



名東化工機(株)



奥能登みっちーファーム



エコファーム奥野



あさひ屋ベーカリー

こころ暖まるご寄付、ご協力 ほんとうにありがとうございました。

スタッフおよび協力者

(敬称略)

社会人スタッフ 31名

岩井繁樹、クノキ家（ジョン、範子、メグ、シーファス、ファーラ）、澤本悟博、下村英司、道花正博
橋本啓輔、徳井聰司、清水十輝、深代真一、田村朋久、野間口拓実、向田誠市、櫻井保夫、熊田克敏
中村洋二郎、斎藤英二、増田淳子、新田洋子、小竹妥英、中川久美子、澤本多日子、道花敬子
中村ちか、加藤有理沙、越後利恵、森井しづか、石黒茉莉子

参加保護者 4名

鈴木真由美、喜古美千代、鈴木悦子、渡部裕美子

学生スタッフ 19名

澤本享宏、クノキ家（ジョセフ、サイモン、ビンセント、ジョイ）、山本航也、富松 凌、新谷陽向
橋本逸樹、新井桃子、米田千奈都、道花真衣、東 泉水、志村朱里、越野弘美、尾嶋真衣
橋本茉奈、橋本樹里、リチャード曲尺

お手伝いいただいた方々 3名

◎看護師：島田定子、久田育恵

◎救急指導員：永井敏昌

◎イベント協力：石川県漁業協同組合能都支所

カウントダウンボードに協力頂いた企業様



よしだ小児科クリニック



株ユティック



村田屋



有オーエムサービス



株サナ



株ヘリオス



スポーツフェスが終った後は、野外炊飯をしました。メニューは、猪のお肉を使った猪丼と、新鮮なトマト、きゅうりのお漬物でした。A班、B班、C班と、普段と違う3つの班に分かれて、野菜を切ったり、かまどの火を調節したりしました。慣れないながらも真剣に食材と向き合い、料理に取り組む様子は、とても頼もしかったです。また、普段から家で料理の手伝いをしている子どもは、「任せて！」と言わんばかりに手際よく食材を切っていたり、意外な一面を知ることができました。自分の役割が終わった後は、広い芝生で自由に鬼ごっこや相撲をして、のびのび遊びました。出来上がった猪丼には皆大満足でした。おかわりする子がいて、たくさんあつたお鍋はすぐに空っぽになりました。美味しいご飯で会話も弾み、ヤングリーダーと子ども達との絆が、より深まった素敵な時間でした。

いずみ

8/11
金
3日目



3日目は、誰もが楽しみにしていた『海水浴』!広く透き通った海へ走り、エネルギー全開です!子どもとリーダーがバディを組んで安全に遊びました。はじけるみんなの笑顔が印象に残っています。『ビーチフラッグ』では、アツい戦いが繰り広げられました。海水浴とは打って変わって、子どもの真剣な表情が見られました。みんなの力を合わせた『地引き網』は大漁でした!?そして、多様な海の生き物と触れ合うことができました。

海水浴後は『スイカ割り』。スイカ割りへのチャレンジャーがたくさん名乗り出ました。みんなで声を出して誘導し、大きなスイカを割りました!夜は夏祭りの班分けゲーム、カヌーの掛け声の練習をして明日の活動に備えました。また、シーファスとジョセフによる『英会話教室』を楽しみました。みんなの心に残るステキな1日でした。

ひろみ

◎ふくしまっ子チャレンジスクールの1番いいところは
どこでしようか？

【お子様からのご意見】

| | |
|-------------------------------|---|
| 楽しい | 5 |
| 皆がとても優しくしてくれる所 | 3 |
| 楽しいリーダー、スタッフ、友達がいて皆が平等に楽しく遊べる | 3 |
| 『おかえり』と迎えてくれる所 | 2 |
| いつまでも思い出に残るキャンプ | 2 |
| 友達が出来る | 2 |
| スタッフとリーダーがやさしい | 2 |
| 皆と仲良くなれる | 2 |
| 夏の思い出作りになるキャンプ | 1 |
| えこひいきがない | 1 |
| 空気が綺麗で自然がたくさん | 1 |
| 夏祭り | 1 |
| ゲーム機器等が使用出来ないから新鮮な気持ちになれる | 1 |
| 皆と一緒に過ごせる | 1 |
| 知らない子と班になって、一緒に活動出来る | 1 |
| 福島市内の友達や、石川県の人と交流している | 1 |
| 日常では難しい体験が出来る | 1 |
| 自然でしか解らない事が、いっぱい解った | 1 |
| 自然の中で過ごせる | 1 |
| 部活での疲れ（ストレス）が無くなる | 1 |

◎今年で6回目を迎えたが、
今後このようなキャンプは必要
と思われますか？また継続する
必要があると思われますか？

| | |
|-----------|----|
| 継続してほしい | 19 |
| 必要と思う | 18 |
| 必要とは思わない | 0 |
| 継続する必要はない | 0 |

◎来年も参加したいですか？

| | |
|-------------------------|----|
| 参加したい | 25 |
| 参加できない | 1 |
| 参加したいが来年に ならないとわからない | 0 |



【保護者様からのご意見】

| | |
|--|---|
| 自立できるところ | 2 |
| 安全な場所に、安心して参加出来る | 2 |
| 自然の中で過ごせる | 2 |
| アットホームな所・温かさ | 2 |
| 挨拶がしっかりと出来る | 1 |
| スタッフが多く、しっかり研修を受け子ども一人一人に向き合ってくれる | 1 |
| 子どもだけではなく、親の事も寄り添い考えてくれる | 1 |
| 活動内容等をすぐに発信、期間中も様子を随時知ることが出来安心 | 1 |
| 多くのスタッフが熱心で信頼出来る方が集まっている | 1 |
| 子どもが帰ってきて嫌なことなんて一つもないすべてが楽しかったと言わせてしまう方々素晴らしい | 1 |
| 小さい子も中学生も一緒に楽しめて、大人、リーダーも最高に楽しめる | 1 |
| 色々な年代の方と交流、協力出来る | 1 |
| ふくしまっ子にかかるリーダーが、OB・OGとなって支えてくれる | 1 |
| 低料金で充実したプログラムを体験出来る | 1 |
| 放射能汚染の心配のない自然環境でのアウトドア行事 | 1 |
| スタッフ側がしっかりとまとまり、安全面でも安心し信頼出来る | 1 |
| ルールを守るという大切さと、自分自身で考え方を述べる、行動するという事の大切さを学べる所 | 1 |
| 今まで体験したことの無い体験が出来る | 1 |
| 子ども達が集中して(期間)遊べる | 1 |
| 放射能からの退避もちろんだが、友達と協力して作業する事（協調性）や自ら行動する力（自主性）を養える事 | 1 |

参加者アンケート結果

参加 20 家族中 19 家族さま 26 名より回答をいただきました。

◎参加の理由は何ですか？ 複数回答可

| | |
|-------------------|----|
| 自然に親しませたい | 21 |
| 放射能からの避難 | 16 |
| 夏の思い出作り | 13 |
| これまで参加して楽しかったから | 13 |
| 行事に魅力を感じた | 11 |
| 自立心をつけさせたい | 11 |
| 団体生活を体験させたい | 8 |
| 友達を作るため | 6 |
| 遠いところに(石川県)に行かせたい | 4 |
| その他(下記詳細) | 3 |
| 友達リーダーに会いたかったから | 2 |
| 放射能汚染のない場所で自然体験 | 1 |

◎どの行事が良かったですか？

複数回答可

| | |
|------------|----|
| 海水浴 | 20 |
| キャンプインキャンプ | 20 |
| コンサート | 19 |
| フリータイム | 13 |
| スポーツフェス | 12 |
| 夏祭り | 12 |
| キャンプファイヤー | 11 |
| 野外炊飯 | 11 |
| 英会話教室 | 10 |
| カヌー体験 | 9 |
| 班活動 | 6 |
| スイカ割 | 1 |
| 水鉄砲 | 1 |
| 昼寝 | 1 |

◎次回参加するしたらやりたい、もしくはやらせたい行事はなんですか？

| | |
|------------|----|
| キャンプインキャンプ | 11 |
| 海水浴 | 8 |
| スポーツフェス | 5 |
| キャンプファイヤー | 4 |
| 夏祭り | 3 |
| カヌー体験 | 2 |
| 班活動 | 2 |
| 野外炊飯 | 2 |
| コンサート | 2 |
| 海釣り | 2 |
| ウォークラリー | 2 |
| フリータイム | 1 |
| 石川の色んな所に行く | 1 |
| 流しそうめん | 1 |
| 金沢散策 | 1 |
| ハイキング | 1 |
| アスレチック | 1 |

◎リーダーの指導は良かったでしょうか？

| | |
|---------|----|
| とても良かった | 24 |
| 良かった | 1 |
| 普通だった | 1 |
| 悪かった | 0 |



【リーダーのどんなところがよかったです？】

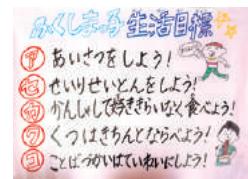
| | |
|---------------------------|---|
| 優しい所や面白い所や怒る所などメリハリがあった | 7 |
| とても良く面倒を見てくれた | 4 |
| 一人で遊んでいると必ず誰かが来て一緒に遊んでくれた | 3 |
| 一緒に遊んでくれた | 2 |
| 優しく対応してくれた | 2 |
| 素早く行動が出来る様に指示してくれた | 2 |
| 積極的に話かけてくれた | 1 |
| 必要なこと、分からぬ事をすぐ教えてくれた | 1 |
| 全員優しかった | 1 |
| 子ども達をまとめていた | 1 |
| 説明が具体的で分かりやすかった | 1 |
| リーダーがとても優しかった | 1 |
| いつでもどこでも面白い | 1 |
| 班をまとめ、行事の進め方 | 1 |

◎プログラム全般についてどうでしたか？

| | |
|-------|----|
| とても良い | 24 |
| 良い | 1 |
| 普通 | 0 |
| 悪い | 0 |

◎エコ一検査は今年実施できませんでしたが、来年は受診したいですか？

| | |
|----------|----|
| あれば受診したい | 22 |
| ぜひ受診したい | 2 |
| 受診したくない | 2 |



◎生活の目標のあ・せ・か・く・こを家でも実行しようと思いますか？

| | |
|----------|----|
| がんばってしたい | 19 |
| できればしたい | 5 |
| やりたくない | 0 |



◎開催期間(5泊6日)についてはどう思われますか？

| | |
|------------------|----|
| ちょうど良い | 19 |
| もっと長いほうが良い(下記内訳) | 12 |
| 6泊7日 | 4 |
| 7泊8日 | 3 |
| 12泊13日 | 2 |
| 10泊11日 | 1 |
| 8泊9日 | 1 |
| 期間記載なし | 1 |
| もっと短いほうが良い | 0 |



8/12(土)
4日目



前日から座る場所や掛け声を各班で決めて臨んだカヌー体験。「美味しいなあれ！」やスタッフの名前など、各班の個性あふれる掛け声が晴れた海に響きました。みんなで息を合わせ、掛け声をかけ、一生懸命漕ぐのに波の勢いが強くてなかなか進まないカヌー。それでも班のみんなで励まし合い、ひとりひとりが諦めなかったから、どの班も無事に帰ってくることが出来たのだと思います。カヌーを漕いでいる途中、覗き込んだ海は澄み渡り、とてもキレイでした。岸での自由時間では、波と遊んだり、貝殻探しをしたり、海洋生物を観察したり、小石を投げて水切りをしたり…それぞれに自由時間を満喫しており、穏やかな時間が流れていきました。学生の頃からふくしまっ子に関わり、早4年。初めてカヌーに乗りましたが、想像以上に達成感のあるイベントでした。

あさり



キャンプinキャンプについてです。テント張からはじまり、野外炊飯では、低学年の子には野菜を洗ってもらい、高学年には包丁で切ってもらい、それぞれの力量で分担ができるて良かったです。カレー作りでは班対抗で「人間まちがいゲーム」をして食材を集めました。調理では前回の野外炊飯で包丁の使い方が危なかったと指摘を受けていたので、子ども達の料理する姿を見守りアドバイスしました。また、夜のミニキャンプファイヤーやフリータイムでは子ども達が活き活きとしていて、自然に囲まれてとても良い時間を過ごせたと思いました。

まな





個人としては4回目の参加。途中でぎっくり腰にやられ、あまり仕事の方も子供達のアクティビティの参観もできない状態でした。

ですが、ある時今年で3回目の参加をしてる4年生の男の子から「腰、大丈夫?」と声をかけられたのにはびっくりと感動、感涙! べつに腰に包帯を巻いていたわけでもないのにどこから聞いたのか…。

ヤングリーダー達多くのメンバーや初参加だったり、たくさん入れ替わりがあつたにもかかわらず皆、溶け込み方とても自然体だったのが大変印象深かったです。回を重ねるごとに参加者や若者達の成長を見せてもらってきたつもりでしたが、今回はこのふくしまっ子チャレンジスクールで起こってる「成長」というものが普通の次元とは違う! と実感しました。

私が故障であります役に立てなかつた一方で福島ママーズの皆様にはたくさん助けていただき、本当に有り難うございました。

範子・クノキ(クノキママ)



私はだれよりもこの5泊6日間を樂しませてもらいました。初参加の私でもこれだけ樂しませてもらえたのは、ふくしまっ子に関わるリーダーやスタッフの方々が作っている空気が良く、なによりも子ども達が誰にでも心をひらくて、歓迎してくれるあたたかい心をもっているからだと思います。

ふくしまっ子の6年間の活動がそういった子ども達に育てたのではないかと思っています。

この活動が長く続き、やさしい心をもった子ども達が大人になりリーダーやスタッフとなり、またいい道鏡をつなげていってほしいと願っています。

そのために私も力を貸しえればと思っています。

このようなすばらしい活動に参加させていただき、本当に感謝しています。

おたな やまとひで
小竹 実英



感想文を書くのは数十年ぶりで、ドキドキしながら書きはじめました。それはさておき~

2年ぶりに参加し、とても驚いたことはスタッフの充実ぶりです。大勢の学生リーダーが参加していて、誰もが「子どもたちを楽しませたい」とがんばっている姿は感動的でした。一方、大人スタッフの方々は学生リーダーに現場をまかせ、サポート役に徹していました。それもこれも、準備段階から綿密に計画立ててこられたからできることだと思います。保護者の方々の、ママズパワーも忘れられません。

(母は強し! 母はカッコイイ! です)

そして今回も強く感じたことは、何か事を興すときには、想いを一つに取り組んでいくことが何より大切だということです。みんなの想いとチカラを合わせていけば、すばらしいことができるんですね。子どもたちのはじける笑顔に来年も会いたい!

刺激と幸せをもらいに石川に行きたい!

チームふくしまっ子の一員として(そうなればいいのですが)、これからも微力ながら関わっていければと思っています。

増田 淳子



「ピックリ・ピックリ」のキャンプでした。

poco連人として郡山から能登へバス引率と能登でのキャンプ地活動補助をしました。

「リビーター参加がタリ」と聞いていましたが、子供達にとっては、非日常の生活が楽しくてしかたが無い毎日だと思いました。館の離れたお兄さん、お姉さんで充分に遊ぶ事が出来、「めがまま」が通り、親子関係とは違う状況で、私から「ピックリ」という事も、ヤングチームが耐えてる様子に感心しました。

この楽しさを支えているヤングチームヒアダントチームの個々の才がありと、連絡のすばらしさにピックリ・ピックリでした。

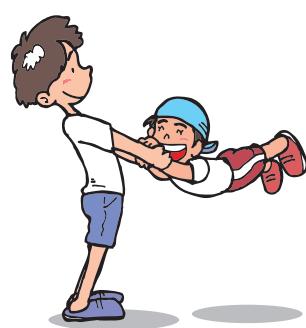
何が、ヤングチームをこんなにも集中して、懸命に活動出来るのか、使命感みたいなのが有るのか、根底に有るものには何かに非常に興味を持ちました。

ヤングチーム活動の今日の反省と明日の計画について具体的な事項検討は、社会人生活にも十分役立ちます。是非、继续していくだけると良いと思います。

福島原発事故(災害?)は、色々な現象を起きました。複雑な感情を有るなかで、「ふくしまっ子キャンプ」を发起し、懇親して子思いとエネルギーに感謝し、敬服致します。最後に、走運心(走箱心?)ながら、経費はどうされているのだろうかと心配していました。

短期の参加でしたが、色々と経験させて頂き、特に、「今の若いのは」と書いていましたが、まるで違う「若者」を観る事が出来た事は、私にとって大きな収穫でした。ありがとうございました。

poco連人 熊田克俊



今年は都合で12日の夜のスタッフ・ミーティングの時からの参加となりました。

スタッフみんながその日一日を振り返り翌日のための計画を立てている姿を見て、ふくしまっ子チャレンジスクールにかかわっている皆の献身と決意に改めて感銘しました。合宿の一日一日が子供達にとって安全でしかも楽しいものとなるようにと努力する皆の献身と決意—これがFSCが毎年それ程も楽しく素晴らしい合宿として成功してきている理由だと思いました。

FSCに必要なすべてのもの一情熱をもってしっかりと取り組むオーガナイザー達、スタッフ、ヤングリーダー達、参加者、保護者の皆さん、支援者の皆さん、安全、良い天候、etc,etc…、これら全てを供給してくださっている神に感謝します。今年もこの合宿がまた素晴らしい大成功のものとなるのを可能した皆さん、どうも有り難うございまいした。

私の家族と共にこのふくしまっ子チャレンジスクールの一員であることをとても誇りに思い感謝しています。

ジョン・クノキ

8/13(日)
5日目



夏祭りはふくしまっ子初のイベント！
通常の班とは一旦お別れし、新しい仲間と共に夏祭りを楽しみました。「輪投げ、ボーリング、豆つまみ、空き缶積み、コイン落とし、玉入れ」といった6つのゲームに参加し、点数をゲット！回り終わった班からこま作りにも挑戦しました。空き缶積みは風が吹いて倒れることが多く、子ども達は風の吹く方向や積み方を工夫していました。年齢別に投げる位置が異なり平等に競うことができたので、子どもだけでなくリーダーや大人スタッフもゲームに熱くなっていました。水鉄砲、シャボン玉はもちろん、ふくしまっこの恒例大人気イベント！大人も子どもも関係なしに水鉄砲で水をかけあいっこ！みんなが魔法をかけられたかのように自然と笑顔がいっぱいに♪楽しかったな～～

まりこ



最終日前夜は十輝くんのコンサートで、部屋で就寝の準備をしている段階で子ども達のテンションがすごく高まっていることを感じました。コンサートがスタートし、子ども達はもちろん、リーダーのテンションもMAXに。ヤスヒデから始まった1・2班男リーダーの涙連鎖に誘われて、とても充実していた5日間と子ども達との翌日のお別れのことを考えていると自然と涙が…。

十輝くん、メグちゃんの歌声やバンドの皆さん、アダルトリーダーのダンスなど、体育館中の人から色々なパワーを感じることができた最終日前夜にふさわしい素晴らしいコンサートでした。

ひゅうが

8/14
月
6日目



5泊6日のキャンプもあっという間に最終日です。今年のキャンプは全日程能登だったのでいつもより早めの閉校式でした。眠い目をこすって整列するふくしまっ子のみんな。今年も楽しい思い出やみんなのはじける笑顔がたくさん詰まったキャンプでした。前に立ち、みんなの顔を改めて見ると5泊6日の日々が思い返され、涙が堪えられませんでした。また、みんなで「のこってるもの」や「夢が夢があるから～♪」を歌って、円になり一人一人と握手やハグを交わして涙涙のお別れをしました。最後はスタッフみんなで『行ってらっしゃい!』で送りました。来年も笑顔いっぱいのふくしまっ子を『おかえり～!』で迎えたいと思います!

ちなつ

今回初めて参加させて頂きました。キャンプ当日には、でも子どもたちと打ち解けられるのPKリーダーとして頼けるのかなど多くの不安がありました。しかし、まわりのリーダー、スタッフの方々が応援してくれたり、温かい言葉をかけて頂いたおかげで当日はモニタたまにPKリード、徐々に子どもたちと仲よくなれました。今、振り返るとみんなの笑顔PK満喫できました。また来年、充実した6日間でした。

手元、来年も参加pkたいと思ってます。
ありがとうございました。

尾嶋 真衣



今年は3回目の参加となりました。昨年同様、短い日数での参加でしたが、子どもたち以上にエキサイトもらえた気がします。そんな中で、今年感じたこと。一つは入力への充実です。特に学年リーダーがたくさん!驚きました。子どもたちを楽しまさせてくれるプログラムの数々、進行の素晴らしさ。本当に「頼もしいなあ」と感じました。(誰目線...?) そして、福島から決して近いとは言えず、石川や福島の子どもたちと学生の皆さんつながっていくこと、これが何よりも嬉しいと感じる限り。もう一つ感じたこと。それは子どもたちの成長ぶり! 皆いつの間にやら大きくなって、びっくりです。話すこと、行動、いろいろ所に子どもたちの成長を見ることができて、勝手ながら自分も嬉しく思っています。

社会人となり、茨城に戻てからも福島や子どもたち、石川の学生、大人スタッフ皆様、様々な形で集まつ方から聞かれています。実は自分自身にとって大きな意味を持っていくと思っています。本当に。

今後も少しでも皆さんのお力になれればと思います。
ありがとうございました。



三年前に子どもの立場で参加させて
もらい、今年はヤングリーダーとして
参加しました。自分が楽しんでいた裏では、学生リーダー、アダルト
リーダーが、こんなに準備をしてく
れてたとは知らず感心しました。

そして、それを分かった上で子どもたちの笑顔を見ると、少しでも多く手伝いたい！と思えました。私もすごく楽しんだし、リーダーとしての経験もできて、すごく充実した5泊6日でした。

ぜひ、大学生になってからも関わらせて欲しいです。

橋本 樹里

今回初めてふくしま、子に参加しました。不安いづれいで始また
キャンプでしたが、どれもこれを本当に楽しくてそんな気持ちは
いつの間にか忘れていました。福島のために何かしたい!と思って
参加しましたが、振り返ってみると、私の方が 子どもたちから
たくさんの笑顔とパワーをもらったように感じます。
このキャンプでの思い出はぜんぶ キラキラしていて、何違ひなく
夏1番のステキな思い出です(◎)

こんなにも「心」があったくなる場所は他にないんじゃないかな?と思ふほど、ふくしま・子は「私にとって大切な場所になりました。ふくしま・子のスタッフ・リーダーのみなさん、そして子どもたち、みんなが大好きです!この大切な場所がずっとあり続けられるようこれからも、私にできる形でサポートしていきます。

あんこ(志村朱理)

今年は、初めてリーダーとして参加しました。
リーダーになら今までのキャラクターがいい自分を見つめ、
自分の改善点で生所を見つめられ、とても素晴らしい
キャラクターになったと思います。今年は、前回までのキャラクター
方がうつりながらたくさんあり、そこもたらすおもいきり
樂しまさせてもらいました。このままこれからもキャラクター
続けていい、嬉しいと思いま。またぜひこのままキャラクターに
参加していきたいです。

橋本 逸樹

スタッフ 感想文

アダルトスタッフとして初めて参加して 向田誠市



今回、ゴールデンウィーク中に開催された3泊4日の「ヤングリーダー研修会」から参加させて頂きました、「ふくしまっ子チャレンジサマースクール」の意義等から勉強させて頂きました。

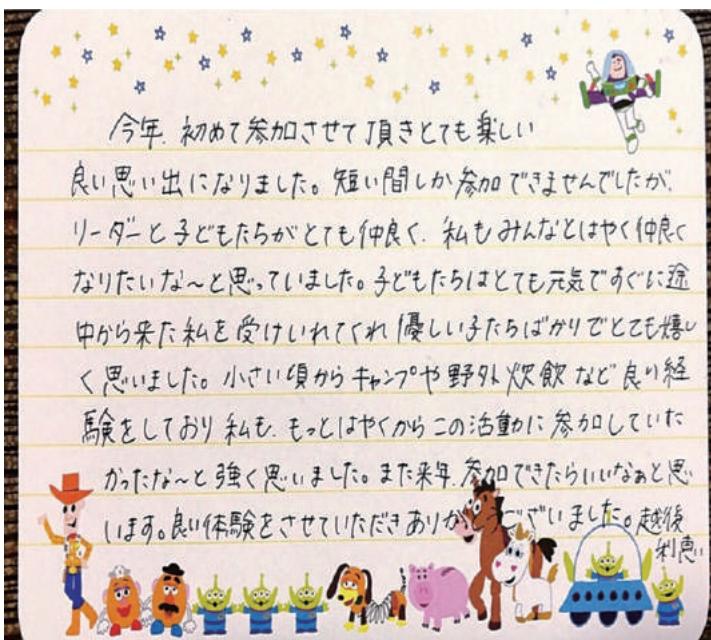
研修会では保養キャンプに必要なさまざまな重要事項を勉強させて頂きましたが、その中で福島から研修会に参加されていたお一人のお母さんの体験談話の中に、「私の実家の母が春先に成ると竹の子や山菜を子供達に食べさせてあげてと沢山持つて来てくれます。実家は東電原発の放射能汚染とは掛け離れていますが、私達夫婦の頭の中からは放射能に対する恐怖心や報道に対する不信感が頭から離れないが故に、母が帰った後子供達に解らない様にして生ごみと一緒にそのまま捨てます。それが今の私達家族の現実です！！」とお話をされた事が、今この感想文を書きながらでも頭からひと時も離れる事はありません。私は、この場面を頭に思い浮かべる度に涙の出る思いで一杯です。孫達に食べさせてあげたいと言う思いで汗を流しながら竹の子や山菜採りをされた祖父母さんの思いに反して、そのまま生ごみと一緒に捨てなければいけないご両親の思いに対し遣りきれない切ない思いで一杯です。

このお話を胸に収め今回初めて「アダルトスタッフ」として「夏祭りスタッフ」として参加をさせて頂きました。「夏祭り」では、準備段階でのヤングリーダースタッフの頭の回転の速さに付いていけず足を引っ張るばかりでしたが、何とか自分の役割分担をこなせたかなと自己満足しています。

前日からの参加予定でしたが、仕事の関係で当日からの参加に成ってしまいました。最初のうちはなかなか子供達と馴染めなく、戸惑う場面が多々有りましたが「海水浴・カヌー」と行事をこなして行くうちに「むこじー、むこじー」とキャンプ愛称で子供達の方から話しかけてくれる様になり、「夏まつり・水鉄砲・シャボン玉」行事の際には子供達と一緒に楽しんでいる自分がいました。

最終日早朝から行われた閉校式が終わり、子供達一人一人とお別れの抱擁を交わした時、「むこじー来年もまた来るから！！」と言う子供達の言葉に、いろんな場面が走馬灯の様に頭を横切りひとり涙する自分に「これからこの子供達の為に自分が動けなくなるまで頑張ろう！！」と言う思いで一杯でした。

アダルトスタッフとして4泊5日の参加でしたが、これまでアダルトスタッフ、ヤングリーダーとして参加された皆さん及び福島県スタッフのご苦労に敬意を表すると共に、これからも福島の子供達の為に頑張って「ふくしまっ子チャレンジサマースクール」を永く続けて行きたいと思っています。頑張りましょう！！



今年初めてキャンプに参加して、初日に子供たちと会った時はみんな静かで何も喋れず不安だったのですが、だんだん子供達から笑顔がでてきて楽しんでいる様子が見えてくると自分も子供達と同じくらい楽しめたんじゃないかなとおもいます。リーダーの仕事も大変でしたが

それ以上にやりがいのほうが大きくて確実に福島っ子はこの夏一番の思い出です！子供達には福島に帰ってもあの笑顔を忘れず何事も頑張ってほしいですし、この素晴らしい活動がこれからも続いているように自分も精一杯協力

していけたらなと思います。

山本航也



班や グループの スタッフ



エピソード

橋本茉菜

- ・フリータイムで女子部屋で子どもとヤングリーダーとで相撲を取ったり筋トレした事。
- ・たっくんの「おてもと」ダンスがかわいかったこと。
- ・おえかきやぬいぐるみあそび、草笛。

越野弘美

- ・だっこしたり肩ぐるましたりと子どもたちとたくさんふれあうことができました。
- 食堂前で手を洗ったあと、私の分のごはんも準備してくれていて、こしひーこっち座って!!と言ってくれたのが嬉しかった。
- 野外炊飯でみんなでシチューを作りました。
- 男女協力してみんなで作れる事ができた。



田村朋久

- ・子ども達が自分の名前を憶えていてくれて、2日目夜に来たときは顔を見たときから子どもに声をかけられたことが嬉しかったです。



富松 凌

- ・海に入ってほとんどつきっきりで海の中で遊んでたいへんではあったけど、そこで仲が深まつたこと。



道花真衣

- ・子ども達が話したい事をたくさん聞いて一緒にガールズトークしたり、最終日に近づくにつれて班の男子メンバーともお腹が痛くなるくらいまで笑い合つたこと。

鈴木真由美

- ・行きのバスの中で話をしていてニコニコして名前なんて呼べばいいの?と言ってくれたことが嬉しかった。

志村朱里

- ・一花がテレビを見るだけで、泣くほどジャニーズ好きだったこと。
- ・たくやがトマトピューレをつまみぐいするほどトマトが好きだったこと。
- ・あやぽんが実は足がすごくはやかったこと。

米田千奈都

- ・海で泳いだり浮いたりして遊んだこと。
- ・キャンプインキャンプで4班男女全員で難しいテントをたてたこと。
- ・スポーツフェスでみんなで応援して頑張って色々な作戦をたてて優勝したこと。

橋本樹里

- ・小中学生がしっかり身の回りの事をしている姿によりしっかりしないとしめしがつかないなと思った。
- ・笑ってる姿を見ると嬉しかった。

サイモン・クノキ

- ・子ども達去年からおぼえていてうれしかったです。



深代真一

- ・昨年、暗い表情多かった子が今年は笑顔で走りまわっていたこと。

荒井桃子

- ・途中で参加でしたが、みんな覚えていてくれて話しかけてくれたこと。
- また、初めての子ども達も話しかけると最初は恥ずかしそうだった子も時間が経つにつれて子ども達から話しかけてくれたこと。

橋本逸樹

- ・地引網で魚が獲れた時の笑顔が最高でした。
- ・今年、リーダーとして初めて参加して今まで同じ目線だった子ども達と目線が変わったのに、それでも去年おととしのようにみんなが話しかけてくれた事にとてもうれしく思いました。

鈴木悦子

- ・上の学年の子どもが下の学年の子に合わせて遊んでくれたり、笑わせてくれている場面が何度も見られ、すごくみんない子達ばかりだと思いました。



ジョセフ・クノキ

- ・フリータイムの時とかお部屋と一緒にいたとき、スタッフと男子の子ども達の絆を強められたと思います。

今日、2日目の参加でした。

子供達も前回参加させていただき、夏休みのふくしまっ子チャレンジスクールにてありました。

ふくしまっ子チャレンジスクールの良い所は、子供達が成長の姿を見ることができることです。マングリーダーの声だけで、初めて参加する子もすぐはじめ事ができ、何よりも子供の個性に合わせて対応してくださいましたが、とても良いです。

また、大人リーダー、やングルーダーも一緒に汗をかいて盛り上げて、みんなと一緒に一体感は、とても貴重な経験だと思います。

子供達が、元気に楽しく遊び、笑顔みるみる6日間で過河溝を見事に、親として力を貸せた事です。
特に震災後、海で遊ぶ事がなく育った我が子の海で遊ぶ姿や、生き物を見つけて瞬時の表情を見ました。

参加させて良かったと心より思いました。

年々、保養を実施する団体が減少する中、こううに継続していただき感謝しております。

本当にありがとうございました。

今年もスタッフ側のお手伝いとして参加させて頂きました。

集合場所で一年ぶりに見る子どもたちの顔、大きくなっている体をみると、声をあげてしまうくらい嬉しくなりました。

今年のバスの中は、静かで、パーキングでのトイレ休憩もきちんと守って行動してくれるし、引率側も楽でした(笑)。

家庭では、土で遊ぶこと、草むらに寝ころがることも禁止されており、地元の再開した海水浴場にも連れていくことはありません。石川では、海岸の砂でたくさん遊んだこと、転んでも汚れても気にせずに走ったことがとても楽しかった様子でした。普段のことが、今の子どもにとっては、全て空のようと思えたり、大切なできごとでした。

そして、私たちも原発問題、作業員の増加による治安の悪さ、日々のストレスから解放されました。その気持ちが、職員の一人に表情がありわられていたのでしょうか。子ども以上に喜び大人のコメントを頂きました。

笑顔がいっぱいのふくしま、ハグして「行ってらしゃい」と送り出してくれた場所に来年も帰りたいと親子で思います。

スタッフリーダー、ふくしまこに関わってくださった皆様に、心からありがとうございました。感謝。

今年もサマースクール「ふくしま開催」いたしました。ありがとうございました!

昨年はウォーターリー、今年は夏祭り…とスタッフの皆様が企画、

準備して下さる行事からともに楽しく刺激的な体験をおびます。

準備して下さる方々への感謝の思いとともに成長の過程にとって

大切で思い出として経験させて貰ったんじで嬉しい限りです。

また、放射能汚染の心配のない自然環境でのアウトドア体験をしていくことができますことを感謝します。

以下たたずみ写真を見て、リーダーの方々が温かく見守る下さる姿など、伊勢市、我が家は宝物に思っています。

いつも温かい、心のこもった企画を開催していただき本当にありがとうございました。

夏祭り、今から来年の開催も楽しみにしてます。

どうぞよろしくおねがいします。ありがとうございました。



「今年は、誰かお友達誘ってみる?」「いや、一人でも大丈夫!」学校のプールに一人で行く事は、嫌がるのに、岩井さんが主催するチャレンジでは、張り切って参加します。引き込み思案の息子とは思えません。とても頼もしいです。

息子は、ストレスから開放され、能登の大自然の中でリラックスでき、その様子に安心し、母は、精神的に救われる夏のひととき。

この保養期間の為に岩井さん、澤本さんご夫妻をはじめとして実現せらる事にご協力くださいました全ての皆様に心から感謝しています。

生涯忘れる事は、できない恩だと感じています。どんなに辛い事があつてもこの事業に4年連続参加できた喜びが今は、少しずつですが確実に本人の自信に繋がっていてチャレンジがあつてこそその成長と日々実感しています。

『一人一人に寄り添う』『神山』『全力で協力し、全力で樂ばず』他にも沢山ありますか?...息子に教えてくれたのは、間違ひなくチャレンジのおかげです。魅力たっぷりの時間を今年もありがとうございました。

帰ってきて、今まで体験したことのないことを経験した
と興奮しながら話をしてくれました。

今日は、海での行事が多く本人達もとても楽しかった
みたいで、一ヶ所に半ばねじこもれながら話してくれて
親としては自体行動を通して伸び成長したと思ってるため
幹も参加させていただき、リーダーシップまでとくわよくに見てもら
えればうれしいです

また最初は近人で参加した...という意識ありませ
したが、回を重ねる毎に自分から参加したい...といふ意識
も目覚えたことに親としては喜びを感じています

大変ありがとうございました



今年もお世話をになりました。

帰ってくるたびにたくましくなっていました、
夏休みに入るとたびにしっかりと自分自身で

宿題計画を立て追められるようになりました。

『楽しい事がたくさん待っています』

この事実だけで、肉体的にも精神的にも
自分でできているように感じます。

親として、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年もたくさんのかわいい"かわいい"、"どきどき"
をありがとうございました。

本当にありがとうございました。

新谷陽向

- 初めての参加だったので子ども達となじめるか正直すごく不安でしたが、2日目の夜到着して1・2班の部屋に入った時すぐに飛びついてきたことが驚きと嬉しさで一番印象に残っています。
- りんせい・たいが・いっせいにはすごくなされました。感謝です！

東 泉水

- 同じ班じゃない子どもも、フリータイムに人狼やかけっこをして仲良くなれた事。
- 後ろから「おんぶして！」「だっこして！」と甘えてくれたこと。
- 数えきれないくらいたくさん遊んで、笑顔で毎日楽しく過ごせたこと。
- 時には頼ってくれて必要としてくれてすごく嬉しかった。



澤本享宏

- 海や空き時間でのちょっとしたあそびなど
- キャンプインキャンプのゆったりとした時間の時にいろんな班の子と話せた。
- 夏祭りでいろんな班の子と仲良く、楽しく回れたこと。



向田誠市

- カヌー体験の時に子ども達に「足元が滑るから注意するんだよ」と言いながら、自分自身が足を滑らせて海に落ちてけがをしてしまい、他のメンバーに迷惑をかけして申し訳ありませんでした。来年は注意事項厳守で子ども達と接します。



渡部裕美子

- 仕事柄、目立つ子自分から寄って行ける子より、おとなしい子に目を向けていた。表情を出せない子、消極的気味な子にちょっとした声かけを心がけていたので、終盤にほんの少しの笑顔（表情）が見れた時が嬉しかった。個人的に白岩拓真君の純粋な心が好きでした。

清水十輝

- 子ども達に名前で呼ばれるたびにうれしい気持ちになりました。
- テント泊で遅くまで寝ない子がいて反応に迷いました。
寝たふりを貫き通していると「トキも寝てるから」と静かに寝たこと。



クノキ・範子

- りゅうがが「腰、大丈夫？」と尋ねてくれたこと。

クノキ・ジョイ

- 長谷川たくとが「来年また絶対きてね」と言ったこと。



山本航也

- 最初に食べた弁当と最後に食べた弁当ではみんな顔が180°変わっていて楽しめていたのが伝わった。
- 海水浴がみんな一番楽しんでいたと思う。

リチャード・サシガネ

- リチャードがともひさの似顔絵を描いてた時、長谷川たくとに描いてほしいと言われて「ともひさは2年目だから知って描けるからたくとも来年來たら描くよ」と言ったら「来年来るよ！」と言ったこと。



石黒茉莉子

- 十輝のうたを聞いて、震災当時を思い出したと話していた。
- 途中から来て子ども達に久しぶりに会ってたくさん声をかけてもらったこと。

尾嶋真衣

- カヌー体験で班の掛け声を子ども達が率先して声かけしてくれて、つらかったけど楽しかったです。
- 集合時間で子ども達がいろんな話をしてくれて、うれしかったし楽しかったです。

喜古美千代

- ヤングリーダーの皆様が子どものペースややりたい事に寄り添うように対応してくれて、マイペースのわが子も楽しむことができました。子どもがひとりでいたりすると必ず誰かが声をかけてあげてる姿を見てうれしく思いました。
- 片付けをしているときに「何か手伝う事はありますか？」と声をかけてくれたこと、とても嬉しかったです。自分で何かやりたいと自発的行動している姿に感動しました。

小竹妥英

- 初の参加でしたが、予想以上の子ども達の笑顔と元気に幸せを与えていただきました。
- ふくしまっ子に毎年参加している子ども・リーダーが多いからこそ、初めてでも周りの雰囲気で楽しむ事ができたのだと思います。
- 又参加してこの連鎖を助けたいなとおもいました。

こども感想文

いつもながら「4を教えてもらつたので、それを書いてやうたりしてます。今はあせがくニク ④と⑤を実行してます。

来年はもうひとつ行ってみたいので「4が」100% 行けませう。この4年間、本当にたのしかったんで「ア」「本当の友達」もできました。ここで「信頼」もまだ友達は少ないで「ア」。学校の友達よりも、ものすごく会える時間は少ないで「ア」。毎日一緒に起床から就寝までいると、やつぱり3つうちの友達よりちかうとこ3つありました!!

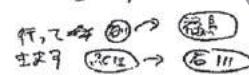
このキャンプにはじめてきた時から、「来年もせ」たまはいたい!」という気持ちには変わりません。

他のキャンプに行、たことかぎないので「わかりませんが」。

「来年もあがう」とまた遊び「うしゅん3つ」で「うしゅん3つ」と言、つくれる人がいる。更に帰る場所がある。という気持ちになりました。

楽しいイベントがあり、交流があって、ちゃんとおもしろかったです。一緒に一週間を過ごして、上にがいたまはいたい! という気持ちと、「感謝」の気持ちも同時にありました。

はじめる時に、たかが「トト。が」「行、たら、しゃい」「行、て王ア」の意味を教えてくれたこと印象に残っています。あとは本当にやりたて「ア」。



私はあの3月11日の日、1年生で、宿をでておはんをしていました。あの時のことを考えるとやはり、このおはんで3月11日がおはん...。そして、放課後線のせいで、国評被寄がうまくてしましました。ほきり言って、福島のお米はねんちゃんおいしいし、どこよりも検査が厳しいので、とっても安全なお米なんですね! 野菜だって検査をしてお店に出ています。福島にもまだ、生け込み所もありましたが、たのしいところたくさんあるんですね。もしよかたさん、「福島死ね」とけんさしてきて下さった。私が「国評被寄についてしゃべ」ましたとき、福島と並んで、スペースーをおいたらけんさして下さった。「死ね」と書いてありました。内容は本当にひどかったです! どちらからも見れなくなりました。つらかったです。

私は、このキャンプで、1つだけ、うさをつきました。うさません。本当の夢は、「福島の国評被寄がやめになりましたように」です。ぜひわいわい会やほんこく会で、「リーダーもヨツくねますか」、「あとなが福島にきてくれますように」たくさん人がきてきて、福島の「おはんをたべてほしいです」。そこには、子に生てもいる人は、石川が「いいませ」と、いくしょが「大好きです」。まるこのように、2つの活動を、いくじょうの良さを伝えようがもって、みんなでいいなと思って思います。私も少し(アガ)、福島のよさを文章で伝えていました。このキャンプと、いくじょうが私は大好きです。リーダーにもおはんを食べてもらいたいし、私たちも、もっと石川をぞりたいです!



保 護 者 感 想 文

「大変お世話になりました」来院顔はすこり日々で満足の笑顔でした。
今年も大変に grâceを贈りました。

一年以内の期間、石川の皆さんと子供達は顔をあわせること
でなくとも、アドバイスのやりかぎりです。キャンプに出発し
石川へ行くの子へと到着すれば、その一歩を踏み出さない
日のひなまつり。日頃の日常生活(福島)を忘れて「あせがくこ」を実行
しながら、心を自由に過ごせるふくしま子。長い期間かけて
丁寧に準備していたたぐらに、子供達が充実した時間で
遊び満ちて過ごすことに感謝です。またふくしま子の活動を
支えてくれた方々へも感謝の言葉しかありません。
次りふくしま子で健康に元成長した子供たちが
「あせがくこ」と石川へ帰れますように。晴れて、またには
この先子供達がリターン訪れ、かかわる子供たちの
新たなすくい場へ。

入しました。参加させて頂き、いい体験を送る

雪が沢山あります。

「帰りの車の中ずっと東洋古事記を語り
くれる音を想像する」など充実な時間を過ごす事が出来たのです。

わが家の食も「漁が当たった」と喜んでくれる。

お間も間違ひには、機に本意流す。されば、
おがとうござります。感謝の意持て。おはづ。

おみやげまだ頂き 来るにあらうとうござります。

今回、初めて参加させていただきました。

「行き帰りのバスが長い時間) 来て、るので、」(自己で)。

無事に着たとしておもって、その後はお友達と仲良くなれる

また心配し、フェイエジン・ウッドにて娘の笑顔が見られて安心しました。

学校以外で、いろいろな年代の方々と交流できることは、とても良い経験

やつせきちらんたじあく思...ます。

*アレルギーがある場合は、食事の時など特に気をつけながら、食べ物を交換しておられることは、喜んでおりました。

、出発時は不安な面夏でしたが、帰ってきた時の満足した顔を見た

このスクールに参加させてもらって本当に良かったと思いました。

本当にありがとうございます。

また機会があれば、参加させて下さい。



今年で3回目の参加をさせていただきました。子供達に、「今年のキャンプはどうだった?」と聞くと、「聞かないで、思ひ出すと涙が出るから...」と言って、今年もすぐには話してくれませんでした。それだけでも「今年も本当に楽しかったんだな...」とかかりました。毎年 夏休みの宿題には、このキャンプの事を作文に書いているのですが、今年の上の子の作文には「スタッフやリーダーはいつも皆に平等に接してくれます。一人で遊んでいると必ず誰かが見つけてくれて一緒に遊んでくれます。優しいけど、しかかもくれます。私もいつかそんな人のきれいな人になりたいです」と書いてありました。それを見て涙が出ました。福島はもう大丈夫という声が最近よく聞こえて来ますが、子供達への健康への影響がいつ出るか... 私達はまだまだ不安の中にいます。

子供達が健康で長生き出来ますように... “あの日から私の願いはこの1つだけです。遠くの場所で体を休ませてあげたいけれど、長い期間は連れていくてあげられないし... どうしたら良いのか分からなくてはいけない時にこのキャンプに出会いました。希望だと思います。これから3年が経ちましたが感謝の気持ちには増すばかりです。ご寄付をしてくださいました皆様、食材などをご支援してくださいました皆様、寄付を呼びかけてくださいました。街頭募金をしてくださいましたスタッフ、リーダーの皆様。

キャンプの間、子供達を支えてくださいました全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今年も最高の夏休みを本当に本当にありがとうございました。



今も 大変お世話になりました。

金沢散策やディスティールに行けなかったことは少し残念がっていましたが、全日程を能登で過ごし自然との触れあいも、大変満足していました。もう6年、まだ6年 農忙後のお手伝いは人手を貰うのですが、福島のことに目をひいて耳を傾けていただけ、また保養をかねたサマースクールを手厚く毎年開催していただき、感謝の言葉しかありません。年齢の壁を越えて仲良く親頼しあえることはすばらしいことだと思います。帰宅後は自分のことだけでなく周囲に目をむけて行動が出来るようになります。目上の人に対する会話等も震えることなくちゃんと(?)出るようになりました。(親戚の方々からお褒めの言葉をいたしました。)たくさんのお土産もひとつひとつ感謝していました。石川からいただいてきた食材や作るメニューはみんな“石川”を付けしとうの肉巻きは『石川巻き』、いかにもや玉ねぎを入れた『石川まじごとスープ』『石川カレーライス』エビローグも楽しめていたります。本当にスタッフ、リーダー、関係者のみなさん、協力していただいた企業の方々ありがとうございました。



キゴ山の料理を食べたい。
水で、もう少し時間をふかしてほしい。
日数をふかしてほしい。
今年も、ありがとうございます。
来年もまた、よろしくお願いがります。

リーダー・スタッフ のみなさん

5泊6日、最高に楽しいキャンプをありがとう!!

今年は「キャンプinキャンプ」をやって、すごく盛り上がりで最高でした。
また来年もスポーツフェスをやってほしいです。
金沢の茶屋町散策、十日町コンサート楽しみにしてます。

「あせかくこを守りながらみんなに会える日まで一年間
がんばります＊ミ

僕は毎年来ておが一番樂しみがち。今年から始まつたミニ運動会(スポーツ)が樂しがをです。僕はあまり外で運動な某月会がないので樂しがをです。また来年も行けたら行。このままで嫌..行きたいです。



ぼくが一番楽しかったのは、カヌーです。
なぜかというとカヌーで1位になれたからです。ぼくはこのキャンプが1年で一番の最高の楽しみです。リーダーのやすひでやほかのリーダーっても楽しい時間もありました。来年は、ゆうりもきてほしいな。

ヤ・グ・リ・タ・ゲ　いっしょに遊んでくれ、楽しかった!!

6時間、ありがとう。
去年よりは友達がふえました。
5泊6日という長い間だったけど、
リーダーたちと楽しくできてよかったです。
来年は中学一年生だけど、来年も来たいです。
一矢王のリーダーありがとう。

今年で3回目の参加でした。2回目以降から、来年もリーダー、スタッフ、同じ3人でしまっ子のみんなにまた会いたい!!と思うようになりました。今年も去年のキャラクターが終わってから、約一年間、会いたくてまらなかつたリーダー、スタッフ、同じ3人でしまっ子のみんなに会えて、とてもうれしかつてます。今も来年の夏が待ち遠しいです。来年も絶対参加したいので、石川で待っていてください!!

みんなと少しおかげに
のれてよかったです。
ご一丸で力をつれしかた。



海に入ると時間を来年は長くいほしい

今年は、4年目の参加で、去年からずっと
楽しみにしていました。直前で途轍が
なり、みんなの中に入れて行くまで大変張
りました。でも覚えてくれた人が、ぱいりん張
は、やわらかいました。テント張りは必ずかか
けど協力しながらできて良かったです。

また楽しかったです。来年もぜひ来てください。今年ありがとうございました。

この6日間ありがとうございました。

1日間やつかれがなくなりました。6日間の期間を楽んでは

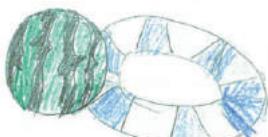
ア ⇒ かさつをしよう!
■ ⇒ 整理整頓をしよう!
力 ⇒ 感謝して好きいちなく食べよう!
ケ ⇒ くじをもらしなくべよう!
四 ⇒ 謙びかねは丁寧しよう!

を1年間ぶんぱってまた石川へ帰りたい!!

Thank you very much !!

来年は、ウーハーライドアトリなど、やってみたいたいです。
今年おもろかったのは、夏祭りです。

うち泊6日も楽しい日を、どうも、ホリカ"ヒラコ"はじめ
した。これもみなさんのおかげです。来年もひらこで
くたっさし。



去年できなが、た、キャンプやキャンプや
新しくできた、スポーツフェスや夏祭り、
毎年やっている行事などがまたできて
とてもが、たし、うれしかったです。
久しぶりに石川のみんなにもあえて
うれしかったです。
今年は3回目で1回目、2回目にひきつづき、
3回目も楽しませてもらえてありがとうございました。
また来年も参加したいです！

ぼくは、2回目にきたんです。すると「そぞろ」いちばん
思い出にのこったものは、キャンプアドベンチャーです。
その理由は、みんながかわいいからです。
また来ますか、分からなくなっちゃうからです。
これからは、あそぶことを家でちょっとしてみたくなります。



リーダーがみんな良い人ばかりだ、だ!

初めて来てくれたリーダーもみんな優しくて面白い
いっぱい話せてよかったです。

でも、班が違うとあまり話せないリーダーもいるから、
リーダーみんなと同じくぐり話せないように。
いろいろなクリエーションをつくってくふると嬉しいです。



来年も行きたいです

あいさつは、ほかの園たいにもあいさつをすることを学びました。
お世かくこというきまりも学びました。
いちばん楽しかったのは、

キャンプインキャンプ、おスニギ、キャンプファイヤー、英会話、コンサート、海水浴、フリータイム、野外炊飯です。
たくさんいろいろなことが学べてよかったです。

お世かくこをいえでモじっせんして、ハルかけたいです。

今年は金沢のやま山に行けなかったけど、
今年は新しい行事が多く新鮮でした。
夏休みの一番の樂しきが、また来年も参加
したいです!!



ふくしまっ子
チャレンジサマー
スクールの
リーダーのみなさん

6日間お世話をありがとうございました。
私は、夏祭りかー一番楽しかったです。
来年は去年やった、キャンプファイヤーを
やりたいです。
楽しい事ばかりで、とても楽しい夏の思い出になりました。
来年も必ず参加します!!
今年も本当にありがとうございました。

今年も楽しいキャンプを参加させいたたさおりがとうござります。
今年は、初めて参加するリーダーが「タタタ」と、リーダーとの仲がいいと良くてよかったです。
今年は、私は、中学1年生です。また大トントーで、リマキャンへ、行けるよう、がんばりたいです。
リーダー、スタッフのみなさん楽しいキャンプをありがとうございました。